

2026年4月28日
ブルースカイエナジー株式会社

牧之原蓄電所における需給調整市場への 参入開始のお知らせ

～ブルースカイエナジー、商業運転開始からわずか36日で参入、
系統用蓄電所の公表事例として国内最短クラス～

■概要

ブルースカイエナジー株式会社は、静岡県牧之原市に設置した系統用蓄電所において、2026年4月28日より需給調整市場向けの運用を開始したことをお知らせ致します。本蓄電所では、国内No.1の風力・太陽光発電事業者である株式会社ユーラスエナジーホールディングス(以下「ユーラスエナジー」)をアグリゲーターとして、卸電力市場(JEPX)・需給調整市場を組み合わせたマルチユース運用を行います。2026年3月23日に商業運転を開始した本蓄電所は、同年4月28日に需給調整市場への参入を実現。商業運転開始からわずか36日での市場参入は、系統用蓄電所の公表事例として国内最短クラス※となります。本蓄電所は当社が2029年までに展開を計画する全国100カ所の系統用蓄電所開発プログラムの第1号案件であり、当社の大規模パイプライン実現力と、商業運転から市場参入までの迅速な立ち上げ能力を示すものです。

※2026年4月時点、各社プレスリリース等に基づく当社調べ。同日参入事例を除く。



■商業運転開始から36日での需給調整市場参入の意義

系統用蓄電所が需給調整市場に参入するには、商業運転開始から通常3～6ヶ月程度を要しますが、本件では、36日での市場参入を実現致しました。商業運転開始後、電力需給調整力取引所(EPRX)への特定卸供給事業者としての登録、簡易指令システム・専用線オンラインの通信接続工事、アグリゲーターとの契約締結、系統連系に関する各種試験、商品要件を満たす蓄電池制御ロジックの検証など多岐にわたる準備が必要となります。

当社では、商業運転開始前の段階からユーラスエナジーと緊密に連携し、需給調整市場参入に向けた実務準備を並行して進めることで、大幅な期間短縮を実現しました。

■背景

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、太陽光や風力といった自然変動電源の発電量変動を吸収し、電力の安定供給を維持するための調整力の確保が急務となっています。2024年4月に需給調整力取引所（EPRX）にて全5商品の取引が開始され、2026年3月14日からは全商品が前日取引へ移行するなど、市場制度は急速に高度化しています。

当社は、太陽光 EPC・O&M 事業で国内 1,250 サイト超・累計 650MW 超の実績を築いてきた独立系再生可能エネルギー事業者として、蓄電池事業を次世代の中核事業と位置づけ、本蓄電所の需給調整市場参入を商業運転開始後の最速クラスのスピードで実現いたしました。

所在地	静岡県牧之原市
蓄電池種類	リチウムイオン蓄電池
発電出力/蓄電容量	2MW/8MWh
商業運転開始	2026年3月23日
需給調整市場取引開始日	2026年4月28日(商業開始から36日)
活用市場	卸電力市場、需給調整市場
アグリゲーター	株式会社ユーラスエナジーホールディングス
事業主体	ブルースカイエナジー株式会社

■当社の開発パイプライン～2029年までに全国100か所の系統用蓄電所～

当社は、本牧之原蓄電所を第1号案件として、2029年までに全国100か所の系統用蓄電所の開発を計画しています。既に2027年までに全国50か所以上の系統用蓄電所開発パイプラインを有しており、全国24か所の拠点ネットワーク、太陽光 EPC 事業で培った用地調達力、社内の建設・O&M体制を活用し、着実なプロジェクト実現を進めてまいります。

みずほ証券との国内初の太陽光併設型大規模蓄電池導入ファンド組成をはじめ、リース会社を含む金融機関、大手不動産会社・大手ガス会社などの事業会社、投資家とのパートナーシップを深化させながら、開発事業資金を確保し、日本政府が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現と2030年度の再生可能エネルギー比率36～38%の目標達成に向け、蓄電池による調整力提供を通じて電力系統の安定化と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

100か所規模の蓄電所群を効率的かつ安定的に運用するため、当社は2026年4月1日付で特定卸供給事業者（アグリゲーター）としての認定を取得しました。今後は、サイトごとの条件に応じて最適なアグリゲーター・蓄電池システム・EMSの組み合わせを選定する「マルチアグリゲーター戦略」のもと、事業収益の最大化と電力系統の安定化に貢献してまいります。

※需給調整市場

一般送配電事業者が電力の需給バランスを維持するために必要な調整力を調達する市場。電力

需給調整力取引所（EPRX）が運営。

※調整力

電力システムの需要と供給のバランスを調整するために、出力の増減が可能な電源が提供する能力のこと。

※アグリゲーター

複数の分散型電源を束ねて制御し、仮想的に一つの発電所として電力市場に参加させる事業者。

※マルチユース運用

蓄電池を卸市場・需給調整市場・容量市場など複数の市場で同時に活用し、収益を最大化する運用手法。

■ブルースカイエナジーについて

ブルースカイエナジーは、「自然エネルギーを未来へつなぐ」をスローガンに、日本の主力電源化を支えるインフラ開発・運営に注力しています。次世代エネルギー戦略の鍵となる系統用蓄電所の EPC 事業、および開発事業環境破壊を伴わない太陽光発電所のリパワリング（設備更新/効率化）を全国展開しています。

【当社の強みと事業内容】

全国 24 拠点による一気通貫体制により自社グループで完結。土地調達から、太陽光発電・蓄電所の設計・施工（EPC）、さらには日常修繕等 O&M（保守管理業務）により地域密着型の迅速な対応が可能です。

【太陽光発電のリパワリング実績（全国 100 か所・150MW 超）】

経年化した発電所のパネル等を設備へ更新し発電効率を最大化。

出力制御対策や売電収益の向上を支援します。

系統用蓄電所・併設型蓄電池の開発、脱炭素社会の実現に不可欠な系統用蓄電所の開発を加速。2029 年までに全国 100 か所以上の設置を目標とし、太陽光発電併設型蓄電池の導入による FIP 制度への対応も推進しています。

ブルースカイエナジーは高度技術と地域ネットワークを駆使し、再生可能エネルギーの価値を最大化させ、持続可能な未来を創造します。

#ブルースカイエナジー #EPC 事業 #インフラ #発電所 #再生可能エネルギー #系統用蓄電池 #系統用蓄電所 #出力制御対策 #FIP 制度 #O&M #保守管理 #太陽光 #脱炭素社会 #併設型蓄電池 #投資

会社名	ブルースカイエナジー株式会社
所在地	東京都中央区日本橋三丁目 9-1 日本橋三丁目スクエア 2 階
代表者	上原 美樹
設立	2012 年 10 月
事業内容	蓄電所および再生可能エネルギーの開発、施工、運用・管理など
公式サイト	https://www.blueskyenergy.co.jp/

<本件に関するお問い合わせ先>
ブルースカイエナジー株式会社
広報窓口
mail : kouhou@blueskyenergy.co.jp